

# チョコレート通信

6月に入り、梅雨入りのニュースが気になる季節を迎え、7日には関東甲信越地方も梅雨入り宣言がされましたが、如何お過ごしでしょうか。

## 『端午の節句の日』五日

端午の節句は、男の子のための節句と考えられています。そして、欠かせないのが五月人形と呼ばれるものです。

五月人形を見たことはあるという方や、男の子がいるので実際に飾ったことがあるという人も少なくないことでしょう。五月人形と言われて思いつくものの一つが鎧兜ですね。

もともと鎧兜を飾るようになったのは江戸時代の武家の風習であると考えられています。

鎧兜は戦いに出る時に身につけるもので、自分の身を守り、命を守ったのです。現代では男の子が無事にたくましく成長していけるようにという願いを込めて鎧兜を飾るようです。

子どもの日の昼食は特別な

行事食でありました。メニューは、押し寿司(錦糸卵、菜の花、海老、イクラ)鱈のすり身の炊合せ、しらすおろし、赤



だし汁、抹茶ケーキです。お粥の方には鯉のぼりの絵をデコレーションしています。

## 『母の日の由来』

五月の第二日曜日は『母の日』です。

母の日の始まりは、今から百年以上前にさかのぼります。アメリカのフィラデルフィアに、アンナ・ジャビーアスという女性があり、その母親は一九〇五年の五月に天国に召されました。母親を深く愛していたアンナは、一九〇七年、支援者たちと共に全国的な

「母の日」の普及運動を始めました。

そして、母親の命日に、ウエストバールシニアの教会で「母の日」を祝いました。これが、五月の第二日曜日だったのです。

日本では、大正時代に始めて「母の日」が祝われましたが、一般に普及したのは、第二次大戦後のことです。

ところで、「母の日」にカーネーションを贈るのは、アンナが、母親の大好きだった白いカーネーションを、追悼会で配ったことから来ています。



私達は、ご入居されている方に『感謝の気持ち』を添えてプレゼントしました。



## 『お寿司の日』二十二日

久しぶりに「お寿司」を頂きました。メニューは寿司七貫(ネギトロ、カンパチ、カツオのたたき、イクラ、エビ、アナゴ、カニサラダ)玉子焼き、茶わん蒸し、豚汁、水羊羹です。皆さんおかわりの寿司はその場で職人さんが握ってくださいるので、いつもより多く食べられた方もいらっしやいました。



## 【お知らせ】

例年の猛暑により『夏祭り』の開催を断念致しますので、「ご承知下さい」。